

SONY

インカムアプリ Callsign

ヘルプガイド



2020/07/29

目次

1 はじめに.....	5
2 本アプリを使用する前に	5
2.1 本アプリの特長	5
2.2 無償/有償機能の違い	5
2.3 準備	6
2.3.1 事前準備	6
2.3.2 アプリのインストール	6
2.3.3 初期設定作業	6
2.4 アプリのバージョンアップ	7
2.4.1 アプリのバージョンアップ通知について	7
2.4.2 バージョンアップ方法	7
2.4.3 バージョンアップ履歴	7
3 操作画面	8
3.1 画面構成と名称	8
3.2 グループリスト画面.....	8
3.2.1 グループ設定画面	8
3.2.2 設定画面	9
3.2.3 トーク画面	9
3.2.4 音量調整画面	9
3.2.5 インジケーター表示	10
3.2.6 端末のステータスバー表示（Android 限定）	10
4 操作手順	11
4.1 グループを新規作成する	11
4.1.1 グループを他のメンバーと共有する	12
4.2 電源を入れて、グループに参加する	12
4.3 会話をする.....	13
4.3.1 ヘッドセットを使用しない	13
4.3.2 ヘッドセットを使用する	13
4.4 音量を調整する	14
4.5 電源を切る（会話を終了する）	14
5 各種設定	15
5.1 音量の設定	15
5.1.1 音量の調整（マイク・受信グループ）	15
5.1.2 エコーバック音声（ECHO）の調整（マイク）	15

5.2 その他設定	16
5.2.1 ユーザー名	16
5.2.2 サーバー選択	16
5.2.3 Callsign ヘッドセット	16
5.2.4 低遅延	17
5.2.5 インテリジェントノイズフィルター	17
5.2.6 効果音	18
5.2.7 操作音	18
5.2.8 PTT 呼出音	18
5.2.9 自動 PTT オフ	18
5.2.10 会話モード	18
5.2.11 音声デバイスの限定	18
5.2.12 Bluetooth ヘッドセット省電力（iOS13、iPadOS13 限定）	19
5.2.13 サーバーとの時間同期	19
5.2.14 利用規約	19
5.2.15 ユーザーマニュアル	19
5.2.16 プライバシーポリシー	19
5.2.17 バージョン	19
5.2.18 アプリ終了（Android 限定）	19
6 Callsign ヘッドセットの使用方法	20
6.1 CSEM-200BT（Callsign ワイヤレス PTT ヘッドセット）の使用方法	21
6.1.1 スマートフォンと接続する（Bluetooth）	21
6.1.2 Callsign アプリと連携する（BLE：Bluetooth Low Energy）	21
6.1.3 PTT ボタン方式	22
6.1.4 サイドトーン	22
6.2 NYSNO-100（ウェアラブルコミュニケーションギア）の使用方法	23
6.2.1 スマートフォンと接続する（Bluetooth）	23
6.2.2 Callsign アプリと連携する（BLE：Bluetooth Low Energy）	24
6.2.3 PTT ボタンの操作の切り替え	25
6.3 Callsign ヘッドセットの違い	25
6.4 その他補足情報	26
7 その他	27
7.1 ご使用上の注意	27
7.1.1 電話の着信・発信	27
7.1.2 他の音声アプリの起動	27
7.1.3 有線ヘッドセットの PTT ボタンによる誤動作	27

7.1.4 有線ヘッドセットの PTT ボタンの操作が効かない	28
7.1.5 ワーニングインジケーター	28
7.1.6 音声の遅延	28
7.1.7 サーバーに接続できないケース	29
7.1.8 音声ノイズ	29
7.1.9 音声の連続送信	29
7.1.10 データ通信量	29
7.1.11 Bluetooth ヘッドセットの接続	29
7.1.12 バックグラウンドでの機能制限 (Android 限定)	30
7.1.13 音声の送受信ができないケース	30
7.2 さまざまな使い方	30
7.2.1 外部機器との接続	30
7.3 主な仕様	31

1 はじめに

Callsign の使いかたを説明するガイドです。Callsign を使うために必要な手順、各種設定や操作を説明します。記載している情報は、最新バージョンのアプリを使用時の情報となります。動作は最新バージョンにアップデートしてご利用ください。

本ヘルプガイドに掲載している画面やイラストは Android 版です。画面やイラストは、実際の製品と異なることがあります。デザインおよび仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

2 本アプリを使用する前に

2.1 本アプリの特長

Callsign は、スマートフォンを活用したインカムおよびトランシーバーアプリです、複数のユーザーが参加してコミュニケーションが取れ、インターネット回線がつながるところであれば距離の制約無く使用できます。スマートフォン単体で使用することができ、ヘッドセットやイヤホンを接続して使用することも可能です。

2.2 無償/有償機能の違い

本アプリは、無償機能用および有償機能用ともに共通です。Android は Google Play、iOS は App Store からダウンロードできます。

無償機能は、登録なしでご利用頂けます。有償機能は、ご契約頂いたお客様に限りご利用頂けます。機能の違いは下記表の通りです。

	無償機能	有償機能
接続端末数	5 台まで	無制限（契約数に依存）
同時利用グループ数	1 グループのみ/端末	6 グループまで/端末
会話の送信時間	計 10 分間まで/時間/端 未あたり	無制限 (連続送信は 24 時間まで)
Web 管理機能	なし	あり
接続サーバーの指定	指定不可	指定可能

有償機能を使用したい場合は、ソニービジネスソリューション株式会社のお問い合わせ窓口からご相談ください。

<https://www.sony.jp/professional/solution/callsign/index.html>

2.3 準備

2.3.1 事前準備

スマートフォン端末

- Android 5.0 以上
- iOS12 以上 (iPhone 6 以降、iPad)
- iPadOS13 以上

対象ヘッドセット、PTT ボタン

- 有線ヘッドセット
- Bluetooth ヘッドセット (HSP,HFP)
※市販品において、iOS では PTT の ON/OFF 操作ができません。
- PTT ボタン (BLE : Bluetooth Low Energy)

対象ネットワーク

- 3G/4G/Wi-Fi

注意事項

- すべてのスマートフォン端末・ヘッドセットの動作を保証するものではありません
- クラウドサーバーを使うため、ネットワークは外部と通信ができる必要があります
- ローカルネットワークの場合はファイヤーウォールなどにより利用できない場合があります

2.3.2 アプリのインストール

Callsign のアプリケーションは、Android は Google Play、iOS は App Store からダウンロードできます。各サイトから“Callsign Sony”で検索してください。

2.3.3 初期設定作業

アプリを起動すると最初に利用規約が表示されます。アプリを利用するには規約への同意が必要となります。

続いてアプリが利用する機能についてユーザー権限の許可を求めるポップアップが表示されます。アプリを利用するにはすべての権限の許可が必要になります。

【Android】

- (0) 常にバックグラウンドでアプリを実行させますか？
- (1/4) Callsign に音声の録音を許可しますか？
- (2/4) Callsign にこの機器への位置情報へのアクセスを許可しますか？
- (3/4) Callsign に通話の発信と管理を許可しますか？
- (4/4) Callsign に機器上の写真、メディア、ファイルへのアクセスを許可しますか？

【iOS】

- (1/1) “Callsign”がマイクへのアクセスを求めています。

最後に名前（ユーザー名）を入力します。名前を入力し登録ボタンを押すとサーバーに接続します。完了すれば画面が切り替わります。名前はユニークである必要はありません。

- 名前（1 文字以上 16 文字まで）



2.4 アプリのバージョンアップ

2.4.1 アプリのバージョンアップ通知について

サーバーの変更に伴いアプリのバージョンアップが必須になる場合があります。その場合、電源 ON したときにバージョンアップするよう通知がきます。継続利用するには、アプリのバージョンアップが必要です。

2.4.2 バージョンアップ方法

Android は Google Play、iOS は App Store より最新版にバージョンアップしてください。
また利用規約が改定された場合は、バージョンアップ時に改訂された利用規約が表示されます。利用するには改めて同意する必要があります。

2.4.3 バージョンアップ履歴

過去のバージョンアップについては、Android は Google Play、iOS は App Store の各ウェブサイト上での掲載を予定しています。“Callsign Sony”で検索し、該当のページをご確認ください。

3 操作画面

本セクションでは、本アプリケーションの各画面について、各部の機能と働きを説明します。

3.1 画面構成と名称

3.2 グループリスト画面

グループリストを表示します。

- ① 電源ボタン：ON になるとトーク画面に移動します
- ② 設定ボタン：設定画面に移動します
- ③ グループ ON/OFF ボタン：参加するグループを選択します
- ④ グループ追加ボタン：グループ設定画面に移動します
- ⑤ QR カメラボタン：本アプリ用の QR コードを読み取ります



3.2.1 グループ設定画面

グループを登録・編集します。

- 新規作成・編集
- QR コード・URL リンクによる共有
- グループの使用履歴・お気に入り設定



3.2.2 設定画面

各種設定を行います。また利用規約、ユーザーマニュアル、プライバシーポリシー、バージョンの確認、アプリの終了機能があります。詳細は、「4. 各種設定」のセクションをご確認ください。



3.2.3 トーク画面

会話の送受信を行います。

- ① 電源ボタン：OFF にするとグループリスト画面に戻ります
- ② グループボタン：会話の送信先を切り替えるときに使います。
- ③ PTT ボタン：会話を送信するときに使います。押している間に送信、または下にスライドさせることでオンフックになり送信できます
- ④ VOX ボタン：音声検知により PTT の ON/OFF を自動制御します（ヘッドセット/イヤホンなど接続時のみ有効）
- ⑤ 音量調整ボタン：音量調整画面に移動します



3.2.4 音量調整画面

音量の調整を行います。マイクの入力レベル、各グループの出力レベルの調整ができます。

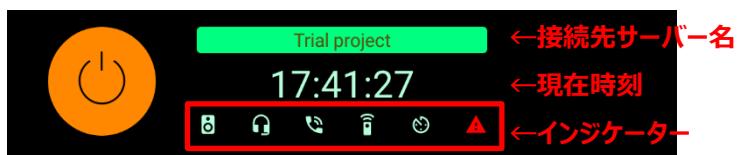
※詳細は、「5.1 音量の設定」をご確認ください。



3.2.5 インジケーター表示

上から接続先サーバー名、サーバーと同期した現在時刻、アイコンによる状態インジケーターが表示されます。時刻表示は電源 ON 中のみ表示されます。

トーク画面抜粋図



インジケーター（左から順に）

- スピーカーインジケーター : スマートフォンのマイク・スピーカーを利用することを示します
- ヘッドセットインジケーター : ヘッドセットの音声入出力を利用することを示します
- インカムインジケーター : 会話モードの設定が、点灯時はインカム、消灯時はトランシーバーモードであることを示します
- BLE ボタンインジケーター : BLE を利用した PTT ボタンデバイスと接続している場合に点灯します
PTT 中はオレンジに点灯します
- タイマーインジケーター : 自動 PTT オフの機能を ON にしている時に点灯します
- ワーニングインジケーター : 使用上、設定に問題がある場合に点灯します
詳細は、「6.1.5 ワーニングインジケーター」をご確認ください

3.2.6 端末のステータスバー表示（Android 限定）

アプリをインストールするとバックグラウンドで自動起動し、端末のステータスバーに電源状態が表示されます。

4 操作手順

4.1 グループを新規作成する

会話をするためのグループを端末上で作成します。無線機でいう周波数（チャンネル）に相当します。同じグループに入ったメンバー同士で会話ができるようになります。

プラス（+）ボタンを押すと、グループ作成画面に移ります。

本アプリでのグループは周波数とは違い、無制限に作ることができます。また距離の制約がないため、同じグループを使用すれば世界中どこからでも参加できます。

- 国名（英大文字：2 文字）
- 番号（数値：1000 から 9999 まで）
- タグ名（4 文字以上 16 文字まで、記号・空白は不可）

「国名、番号、タグ名」の組み合わせでグループを定義します。

（例）「JP 1234 HELLO」



- グループ（3 文字まで、記号・空白は不可）

グループリスト画面のグループ ON/OFF ボタンの表記名を設定できます。

端末ごとに任意の表示を設定できます。

「登録」ボタンを押して登録を完了します。

注意事項

お互い無関係のメンバー同士でも偶然同じグループ名（国名、番号、タグ名 の組み合わせ）を設定すると、同じグループに参加することになり、無線機同様に混信が発生します。簡単な名前は混信の可能性が高くなりますので、推測しにくいグループ名の設定をおすすめします。

混信の回避方法として、接続先サーバーが異なる場合は同じグループ名でも混信はしません。混信を確実になくすためには専用の接続先サーバーを準備することを推奨します。接続先サーバーについての詳細

は Master Web ヘルプガイドを参照してください。

4.1.1 グループを他のメンバーと共有する

新しくグループを作成したら他のメンバーにも同じグループに参加してもらうために、QR コードまたは URL リンクで通知することができます。

グループの詳細ボタン（>）を押すと QR コードが表示されます。参加してもらいたいメンバーにも本アプリを起動してもらい、カメラボタンを押します。カメラに切り替わったら QR コードに向けて読み取ります。読み取りが完了するとグループが自動で登録されます。

URL リンクを利用する場合は、「共有」ボタンを押します。URL リンクのテキストが生成され、共有方法ができますので、お好きな方法でメンバーに通知してください。URL リンクを受け取った端末はブラウザでリンクをクリックすると、QR コード同様にグループが自動で登録されます。



URL リンクでアプリがインストールされていない場合は、ストアのサイトに移動します。その場合はアプリのインストールを完了したのちに、再度リンクをクリックする必要があります。

4.2 電源を入れて、グループに参加する

アプリの電源ボタンを押すと、設定したグループに参加し会話画面に切り替えられます。この状態になると会話を受信できるようになります。

同時に参加できるグループ数には制限があります（最大 6 グループ）。設定した各グループの左端の四角が緑色であれば、該当のグループに参加します。参加しないグループがある際は、左端の四角のアイコンをタップしグレーアウトさせることで、参加を回避できます。



4.3 会話をする

アプリの画面操作で、自分の声を送信することができます。PTT ボタン（中央のボタン）を押すもしくは、で PTT ボタンを押し下げるときオフク状態になり、自分の声を送信できます。オフク状態の場合、上方向に押し上げると解除することができます。

注意事項

iOS および iPad OS 端末を使用の際は、PTT ON してから話し始めるまで、一呼吸おいてから話しあげてください。すぐに話し始めると、冒頭の会話が送信できないことがあります。また PTT OFF してから再度 PTT ON する間隔を空けるようにしてください。

4.3.1 ヘッドセットを使用しない

ヘッドセットを使用しない場合は本体のスピーカー、マイクを利用し、会話ができます。ただし、この場合はトランシーバーモード（互通話、送信者は 1 人のみ）として動作します。

トランシーバーモード時は、同時に 1 人しか会話ができないため、話がある時のみ PTT ボタンを押して発言し、終わればすぐに PTT ボタンを離すことで、他のメンバーも発言できるようになります。メンバー全員でスムーズな会話が可能になります。他のメンバーが発言している最中に PTT ボタンを押してもボタンはキャンセルされます。

トランシーバーモード利用者とインカムモード利用者が混在している場合、トランシーバーモード利用者が PTT ボタンを押して発言中に、インカムモード利用者が PTT ボタンを押して割り込むと、トランシーバーモード利用者の PTT が強制終了します。

4.3.2 ヘッドセットを使用する

ヘッドセットを接続するとスピーカーインジケーターが消灯し、ヘッドセットインジケーターが点灯します。ヘッドセットを使用する場合はインカムモード（互通話、電話のように複数人が同時に会話可能）で動作します。デフォルトの設定ではインカムモードになっているため、インカムインジケーターも点灯しています。設定変更によりトランシーバーモードでの使用も可能です。

<Callsign ヘッドセットを使用する場合>

Callsign 用の一部の Bluetooth ヘッドセットには、BLE (Bluetooth Low Energy) が搭載されており、PTT ボタンの長押しによる PTT ON/OFF の切り替えが可能です。

※詳細は、「6.Callsign ヘッドセットの使用方法」をご確認下さい。

<市販のヘッドセットを使用する場合>

ヘッドセットにはメディアボタン（受話ボタンもしくは再生ボタン）がついており、短押しでPTTのON/OFFを切り替えることができます（一部の機種では、長押し操作によるPTT ON/OFFの切り替えが可能です）。このボタンを使うことで画面を消した状態でも操作できるようになります。

ただし、iOSとBluetoothヘッドセットをセットで使用する場合は、メディアボタンでのPTT操作はできないため、アプリ画面上でPTTの操作を行ってください。なお、ヘッドセットの動作を保証するものではないため、ご使用予定のヘッドセットで動作確認を行ってください。

<OSの違いによるBluetoothヘッドセット使用時のPTT操作対応表>

	有線ヘッドセット (市販品)	Bluetoothヘッドセット (市販品)
Android	○	○
iOS/iPadOS	○	×

PTT ON/OFFはトグルでの切り替えとなります。ON/OFFどちらに変化したかわかるようにONにした時と、OFFにした時で異なる呼出音が鳴ることで判別できます。呼出音が不要な場合は設定画面より「PTT呼出音」をOFFにすることで無効にできます（デフォルトはON）。

4.4 音量を調整する

音量は端末のハードウェアとしての音量調整に加えてアプリの音量調整機能があります。トーク画面の音量調整ボタンを押すことで音量調整画面に切り替わります。画面内は左右にスクロール可能です。

マイク・グループ個別にレベルメーターを見ながらリアルタイムに調整できます。グループが有効な場合はレベルメーターの一番下または左端に緑マークが点灯します。

受信グループが複数ある場合は合成されて出力されます。トータルのレベルメーターとして画面上部にIN/OUTとして表示されます。

4.5 電源を切る（会話を終了する）

電源ONの場合はいつでも音声を受信可能な状態になっています。電源をOFFすることでグループから離脱します。

5 各種設定

本セクションでは、本アプリケーションの設定を行う画面について、各部の機能と働きを説明します。

5.1 音量の設定

5.1.1 音量の調整（マイク・受信グループ）

音量は端末のハードウェアとしての音量調整に加えてアプリの音量調整機能があります。アプリの音量調整はデジタル的に音量を増減させます。またマイク・グループを使用するかどうか機能の ON/OFF 設定ができます。OFF にした場合はマイクであれば送話不可、グループであれば受信しないを意味します。

調整バー上部の四角のアイコンが緑色であれば、機能が ON になります。機能を OFF にしたい場合は、四角のアイコンをタップしグレーアウトさせてください。



- マイクまたはグループの機能 ON/OFF
- 増減範囲 : +18dB から-12dB…デフォルトは 0dB
- 受信グループ、マイクそれぞれ個別に音量調整可能

マイク OFF の場合は PTT ボタンが利用できなくなります。発話する必要がない場合などに、誤操作での発話防止にも利用できます。

5.1.2 エコーバック音声（ECHO）の調整（マイク）

自分の発話した音声を自分のヘッドセットに戻して聞く（エコー）ことができます。相手には送信されません。

- 機能 ON/OFF…デフォルトは OFF
- 増減範囲 : 0dB から-24dB…デフォルトは-24dB

5.2 その他設定

5.2.1 ユーザー名

ユーザー名を変更することができます。ネットワークに接続した状態で行ってください。



5.2.2 サーバー選択

接続先のサーバーを変更します。設定画面より「サーバー選択」で接続先サーバーを切り替えることができます。（有償機能ご利用時の機能です）接続先サーバーによって同時に利用できるグループ数や利用期間が変わります。詳細は Master Web ヘルプガイドを参照ください。

5.2.3 Callsign ヘッドセット

Bluetooth のヘッドセットもしくは、BLE（Bluetooth Low Energy）を搭載した推奨ヘッドセットを使用する際の設定を行います。メディア音量の設定（Android 限定）と、推奨ヘッドセットの各種設定と状態を確認できます。



ヘッドセットと Bluetooth の接続が完了した状態で、設定メニューを選択すると、ヘッドセットのデバイス名表示と、音量（メディア音量）の調整が可能になります。

音量（メディア音量）の設定（Android 限定）

アプリの電源を ON にしたタイミングで、メディア音量を指定した値に設定する機能です。OFF の場合は、メディア音量は変更されません。アプリの電源 ON 後に設定値を変更したい場合は、スマートフォンの音量調整メニューから値を変更してください。

注意事項（Android 限定）

Bluetooth のヘッドセット使用時の Callsign の音量は、「メディア音量」と「通話音量」の 2 つの設定値があり、この 2 つの組み合わせで音量が決まります。

「メディア音量」は、Callsign を使う際のベースとなる音量値になります。Callsign アプリの電源が ON になっている時のみ調整が可能です。アプリの電源が OFF になっている場合は、調整できません（メディア音量の設定値が表示されますが、Callsign とは異なる設定値となります）。調整は、設定アプリ [設定] → [音設定] → [メディアの音量] から設定してください。

「通話音量」は、Bluetooth ヘッドセットの音量値になります。ヘッドセットおよびスマートフォンのボリュームボタンの操作によって調整できます。

<アプリの電源が OFF の時>



・「通話音量」は表示されません。

<アプリの電源が ON の時>



・「通話音量」が表示されます。

・音量（メディア音量）の設定が ON の場合、アプリの電源を ON にしたタイミングで、メディア音量は指定した値に設定されます。

※「6.Callsign ヘッドセットの使用方法」も合わせてご確認ください。

5.2.4 低遅延

遅延モードの切り替えが可能です。デフォルトは「低遅延を優先」で、ネットワークの影響により一時的に遅延が発生した場合は早送りすることで遅延を削減します。「安定性を優先」では、遅延が大きくなりますが、一定（約 1 秒）の割合で遅延が発生するため、各スマートフォンから同じタイミングで音声が出力されます。ただし、ネットワークの影響でさらに遅れが発生することがあります。

5.2.5 インテリジェントノイズフィルター

ソニー独自開発の音源分離技術（AI 技術）により、周囲の雑音や風切り音などノイズを取り除き、聞き取りやすい会話を実現する機能です。会話を送信する側で発生したノイズを取り除く機能になり、受信する側で発生するノイズを受信者に聞こえないようにする機能ではありません。

使用する環境によっては、送信する会話が打ち消される場合があるため、その際は機能を OFF にしてください。デフォルトは ON です。事前に実際の使用環境下でお試しください。

注意事項

- マイクで拾った電子音や、効果音なども消えます。
- 使用する環境によっては、送信した会話が打ち消されることや、声が小さくなることがあります。

<発生しやすい環境>

人の声よりも周囲のノイズが大きいとき

ノイズがある環境下において PTT ON 後から話し始めるまでに時間が空いたとき

話した声が小さい（マイクへの入力レベルが低い）とき

※上記症状が発生した場合は、一度 PTT OFF にしてから再度 PTT ON にして会話をするか、機能を OFF にしてご利用ください。

5.2.6 効果音

効果音（操作音および PTT 呼出音）の ON/OFF と音量を調整します。デフォルトは ON で音量は 3 です。音量は 1 から 10 まで調整できます。

5.2.7 操作音

操作音の ON/OFF を設定します。効果音が OFF の場合は鳴りません。デフォルトは ON です。

5.2.8 PTT 呼出音

PTT 呼出音の ON/OFF を設定します。効果音が OFF の場合は鳴りません。デフォルトは ON です。

5.2.9 自動 PTT オフ

PTT を一定時間経過後にオフにします。オフにするタイミングは、30 秒、1～5 分は 1 分単位で調整できます。デフォルトは OFF です。

5.2.10 会話モード

インカムモード（双方向同時通話）またはトランシーバーモード（交互通話）を切り替えます。デフォルトはインカムモードです。ヘッドセットを使わないメンバーがいる場合などインカムモードで不都合がある場合は、ヘッドセット使用時でもトランシーバーモードで利用することができます。

イヤホンなどの音声デバイスを接続していない場合は、設定に関わらず、トランシーバーモードで動作します。

5.2.11 音声デバイスの限定

音声デバイスをヘッドセットに限定するかどうか設定します。設定した場合はヘッドセットからのみ音声の入出力を行います。誤ってヘッドセットが抜けて端末から音声・マイクが漏れることがないように音声の入出力をヘッドセットだけに限定することができます。未接続の場合は会話ができなくなります。デフォルトは OFF です。

5.2.12 Bluetooth ヘッドセット省電力 (iOS13、iPadOS13 限定)

設定を ON にすることで、Bluetooth ヘッドセットのバッテリー消費を抑えることができます。一方で、PTT ON/OFF の切り替え操作を行った際に、音声の送受信が一瞬途切れるなどの制限事項も発生します。

注意事項

- 話すことが少なく、聞くことをメインにする運用に限り、本機能を ON にすることをお勧めします。
- iOS12.x.x のバージョンでは、効果が無いため本機能がありません。
- iOS13.x.x および iPadOS13.x.x のバージョンで本機能を ON にすることができますが、古いバージョンでは、スマートフォンのバッテリー消費が早くなる可能性があります。OS を最新バージョンにしてご利用ください。

5.2.13 サーバーとの時間同期

サーバーと同期が取れている場合は同期時刻の誤差が表示されます。サーバーとのネットワーク接続速度の目安になります。

5.2.14 利用規約

利用規約を表示します。

5.2.15 ユーザーマニュアル

各種マニュアルを表示します。外部リンクのためブラウザで表示されます。

5.2.16 プライバシーポリシー

プライバシーポリシーを表示します。外部リンクのためブラウザで表示されます。

5.2.17 バージョン

アプリのバージョンが表示されます。

5.2.18 アプリ終了 (Android 限定)

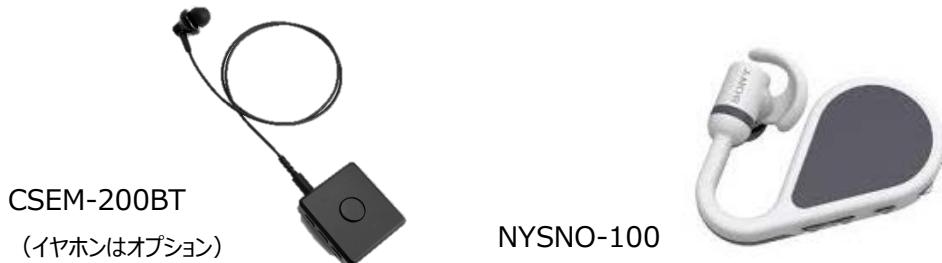
アプリを強制終了することができます。アプリはバックグラウンドとして動作しているため、通常のアプリ終了では終了しません。バックグラウンドでの動作を終了させる場合はこの機能でアプリを終了したうえで、通常のアプリ終了を行ってください。

ただし、バックグラウンドで動作してない場合は、Master Web からの制御ができません。詳細は Master Web ヘルプガイドを参照ください。

iOS、iPadOS は本設定がありません。アプリのスワイプなどでアプリを終了してください。

6 Callsign ヘッドセットの使用方法

本セクションでは、Callsign 専用の Bluetooth ヘッドセット（CSEM-200BT および NYSNO-100）の設定および使用方法について説明します。



上記ヘッドセットには、BLE（Bluetooth Low Energy）が搭載されており、Callsign アプリと接続することで、PTT ボタンの操作によるアプリの PTT 操作が可能になります。またメディア音量の設定（Android 限定）と、ヘッドセットの各種設定と状態を確認できます。

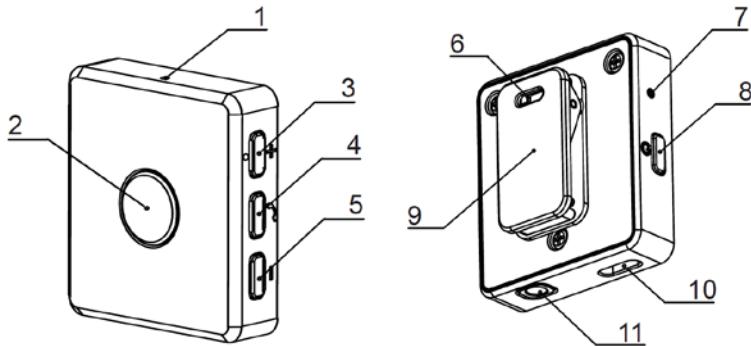
注意事項

- 本機能を使用する際は、アプリを最新バージョン（Ver 1.1.1 以降）にしてご使用ください。
- **PTT ボタンを使用する際は、接続するスマートフォンの位置情報の設定を ON にしてください。** BLE（Bluetooth Low Energy）を使用する際は、位置情報が ON である必要があります。
- PTT ボタンの操作は、Android Ver 6.0 以上のスマートフォンに対応しています。Ver 6.0 未満の端末では、PTT ボタンのメニューは表示されません。
- 接続する機器の Bluetooth は、Ver 4.2 以上をお勧めします。Ver 4.2 未満の場合は、正しく接続ができないことがあります。
- 表示されるバッテリー残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として使用してください。
- すべてのスマートフォン端末・ヘッドセットの動作を保証するものではありません

※音量（メディア音量）については、「5.2.3 Callsign ヘッドセット」をご確認ください。

※詳細については、各製品の取扱説明書をご確認ください。

6.1 CSEM-200BT (Callsign ワイヤレス PTT ヘッドセット) の使用方法



- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. マイク | 6. ストラップホール |
| 2. PTTボタン | 7. LED |
| 3. ボリューム（音量）ボタン + | 8. 電源ボタン |
| 4. マルチボタン | 9. クリップ |
| 5. ボリューム（音量）ボタン - | 10. USB Type-C 接続端子 |
| | 11. イヤホン接続端子 |

6.1.1 スマートフォンと接続する (Bluetooth)

- ① 電源ボタン(8)を長押し (約 1.5 秒) し、電源を入れます。
- ② マルチボタン(4)を長押し (約 7 秒) し、ペアリングモードにします。
- ③ スマートフォンの Bluetooth 機能をオンにします。
- ④ スマートフォンの使用可能な Bluetooth 機器リストに表示された「CSEM-200BT ●●●●●●●」を選択し、Bluetooth のペアリングを完了します。
※ ●●●●●●●は、シリアル No が表示されます。CSEM-200BT 本体の裏側に記載されているシリアル No をご確認ください。

2 回目以降の接続では、本機の電源をオンにしただけで自動的に接続されることがあります。その際は、
②以降の設定は不要になります。

6.1.2 Callsign アプリと連携する (BLE : Bluetooth Low Energy)

- ① Callsign アプリを起動し、設定メニューから“Callsign ヘッドセット”を選択します。
- ② Callsign ヘッドセット 下位メニューの“PTT ボタン”的設定を“接続中”に変更します。
- ③ PTT ボタン(2)を長押し (約 1 秒) し、BLE のペアリングモードにします。
- ④ Callsign アプリとのペアリングが完了すると、各種情報が表示され、PTT ボタンの操作ができるようになります。

- ⑤ Callsign アプリの電源をオンし、会話をスタートしてください。PTT ボタンの操作により、Callsign の PTT オン/オフの操作を行うことができます。



注意事項

- BLE のペアリングは、アプリ起動後に毎回必要です。自動でペアリングされることはありません。
- BLE のペアリングは 1 台ずつ行って下さい。同時に複数台のペアリングを行うと意図しない機器と接続する可能性があります。ペアリング完了後に、Bluetooth と BLE のペアリングしている機器が同一であることをご確認ください。

6.1.3 PTT ボタン方式

PTT ボタンの操作方法を選択できます。押しながら操作（押しているタイミングで送話）する方法と、押すたびに送話の ON/OFF を切り替える方法から選択できます。

6.1.4 サイドトーン

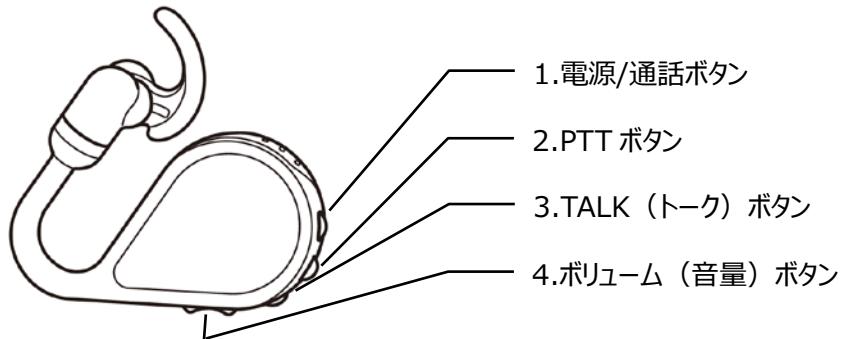
自分の発話した音声を自分のヘッドセットに戻して聞く（エコー）ことができます。相手には送信されません。設定が OFF の場合は聞こえません。デフォルトは ON です。

注意事項

- 本機能が ON の場合、アプリのエコーバック音声（ECHO）の機能は OFF にして使用ください。



6.2 NYSNO-100（ウェアラブルコミュニケーションギア）の使用方法



【NYSNO-100 使用時の不具合のお知らせ】

Android スマートフォンと組み合わせてご利用の場合、音声の出力が NYSNO-100 からスマートフォンに切り替わってしまう、という症状が稀に発生する場合があります。

スマートフォンを再起動させて NYSNO-100 と接続し直していただければ復帰できますが、その後も同様の症状が再発する場合があります。

そのため、NYSNO の初期出荷時点では Android 版「Callsign」との組み合わせた会話機能については、動作保証外の扱いとなります。

現在、原因の解明を進めておりますが、対応ができ次第、再度お知らせします。

6.2.1 スマートフォンと接続する（Bluetooth）

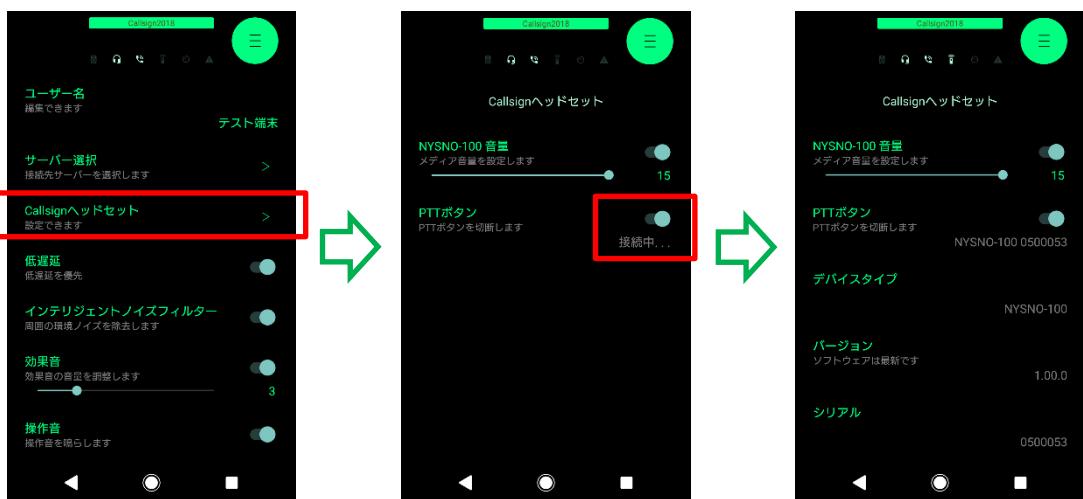
- ① 初回は、電源が入っていない状態で、電源/通話ボタン(1)を長押し（約 7 秒）し、電源を入れ、ペアリングモードにします。
- ② スマートフォンの Bluetooth 機能をオンにします。
- ③ スマートフォンの使用可能な Bluetooth 機器リストに表示された「NYSNO-100 ●●●●●●」を選択し、Bluetooth のペアリングを完了します。
※「●●●●●●●●」は、シリアル No が表示されます。本体の側面に記載されているシリアル No をご確認ください。

2 回目以降の接続では、本機の電源をオンにしただけで自動的に接続されることがあります。電源/通話ボタン(1)を長押し（約 2 秒）し、電源を入れ接続してください。

6.2.2 Callsign アプリと連携する (BLE : Bluetooth Low Energy)

- ① Callsign アプリを起動し、設定メニューから“Callsign ヘッドセット”を選択します。
- ② Callsign ヘッドセット 下位メニューの“PTT ボタン”的設定を“接続中”に変更します。
- ③ PTT ボタン(2)を長押し（約 1 秒）し、BLE のペアリングモードにします。
- ④ Callsign アプリとのペアリングが完了すると、各種情報が表示され、PTT ボタンの操作ができるようになります。
- ⑤ Callsign アプリの電源をオンし、会話をスタートしてください。PTT ボタンの操作により、Callsign の PTT オン/オフの操作を行うことができます。

“Callsign ヘッドセット”を選択 “PTT ボタン”的設定を“接続中”に変更 接続完了



注意事項

- BLE のペアリングは、**アプリ起動後に毎回必要です**。自動でペアリングされることはありません。
- BLE のペアリングは 1 台ずつ行って下さい。同時に複数台のペアリングを行うと意図しない機器と接続する可能性があります。ペアリング完了後に、Bluetooth と BLE のペアリングしている機器が同一であることをご確認ください。
- NYSNO-100 本体の TALK ボタン(3)は、Callsign アプリと接続している際は使用しません。
NYSNO-100 単体のグループトーク機能を使う際に使用します。
- NYSNO-100 に関する詳細は、以下の web サイトをご確認ください。
製品 HP <https://first-flight.sony.com/pj/nysno>
ヘルプガイド <https://rd1.sony.net/help/nysno/nysno100/ja/>

6.2.3 PTT ボタンの操作の切り替え

PTT ボタンの動作方式を選択できます。押しながら操作（押しているタイミングで送話）する方法と、押すたびに送話の ON/OFF を切り替える方法から選択できます。



6.3 Callsign ヘッドセットの違い

○：対応 ×：非対応 −：メニュー非表示

	CSEM-200BT	NYSNO-100	市販のヘッドセット
メディア音量 (Android 限定)	○	○	○
PTT ボタン	○	○	×
デバイスタイプ ※1	○	○	−
バージョン ※1	○	○	−
ソフトウェアアップデート ※2	−	○	−
シリアル ※1	−	○	−
バッテリー※1	○	○	−
PTT ボタン方式	○	○	−
サイドトーン	○	−	−
ユーザーマニュアル (リンク)	−	○	−

※1：表示のみのメニューとなります。

※2：アップデートを実施するに表示されます。バージョンアップ方法については、NYSNO-100 のヘルプガイドをご確認ください。

6.4 その他補足情報

<iOSでのBluetoothデバイス名の表示について>

iOSでは、BluetoothとBLE（Bluetooth Low Energy）2つのデバイスが表示されます。Bluetoothは、設定アプリから接続可能ですが、BLEは設定アプリから接続できません。必ずCallsignアプリから接続を行って下さい。

※表示名が同じになるため区別できませんが、BLEを選択した場合は接続できません。別の同じデバイス名を選択し、Bluetoothを接続してください。



7 その他

7.1 ご使用上の注意

7.1.1 電話の着信・発信

電話アプリを使用した場合は、電話が優先されます。電話の発信および着信したタイミングで本アプリの送受信機能は自動で停止します（電話の音声が送信されることはありません）。

注意事項

- Android は、電話を終了すると自動で元の状態に戻りますが、iOS は元の状態に戻りません。
Callsign のアプリを一度フォアグラウンドで表示することで元の状態に戻ります。
- iOS において、PTT ON している端末で着信を受けた場合、着信音はイヤホンに流れません。

7.1.2 他の音声アプリの起動

電話以外の音声アプリ（アラーム、Siri、音声コントロール、カメラのビデオなど）が起動した際は、Callsign のアプリが正しく動作しなくなることがあります。起動したアプリの終了後に、Callsign アプリの電源を一度 OFF し、再接続を行ってください。

7.1.3 有線ヘッドセットの PTT ボタンによる誤動作

有線ヘッドセットの PTT（メディア）ボタンの操作により、端末の音声アシスタント（Google アシスタントや Siri）や音楽アプリが起動することがあります。またバックグラウンドで音楽アプリなど音声を利用したアプリが動作している場合、本アプリがマイクやメディアボタンを利用できないことがあります。対策としては下記の方法があります。

- 該当のアプリを強制終了する
- 該当のアプリを無効にする
 - Android の場合は、[設定] → [アプリと通知] → [アプリ情報] から該当のアプリを無効にする。
 - iOS (Siri、音声コントロール) の場合は、[設定] → [スクリーンタイム] → [コンテンツとプライバシーの制限] をオン→ [許可された App] → [Siri と音声入力] をオフにする。
- ※ 使用する端末、OS のバージョンによって操作方法が異なりますので、詳細はご使用の端末のマニュアルをご確認ください。
- 設定変更後にスマートフォンを再起動して使用ください。
- 長押しできない特殊なヘッドセットを利用する

7.1.4 有線ヘッドセットの PTT ボタンの操作が効かない

有線ヘッドセットの PTT（メディア）ボタンを操作しても、スマートフォンが PTT ボタンの操作を認識しないことがあります。下記の方法で症状が改善されるかお試しください。

- ヘッドセットを抜き差しする
- 一度、別のヘッドセットをセットし、再度差し替える
- アプリを再起動する
- スマートフォンを再起動する

上記で改善されない場合は、OTG 対応のスマートフォンであれば変換ケーブルを使用してご利用ください。
iPhone の場合は、Lightning-3.5 ステレオミニの変換ケーブルを使用します。

7.1.5 ワーニングインジケーター

使用上に問題がある場合はワーニングインジケーターが点灯します。

（例）デフォルトの設定ではインカムモードになっていますが、ヘッドセットを接続していない場合トランシーバーモードとして動作するため、ワーニングインジケーターがインカムモードでないことを明示するために点灯します。

（例）使用する音声デバイスをヘッドセットだけに限定している場合にヘッドセットが接続されていない場合、音声が利用できることを明示するために点灯します。

7.1.6 音声の遅延

インターネットを経由するため、遅延が発生します。通信条件がよければ 300ms 程度の遅延ですが、ネットワークの距離と回線状態により遅延は大きくなることがあります。日本国内であれば距離よりも回線状態に大きく依存します。

本アプリではリアルタイム性を重視するために、遅延が一時的に大きく発生した場合は再生速度を早めたり、音切れが発生したりすることがあります。設定画面の「低遅延」の設定を「安定性を優先」にすることで再生速度を早める機能を OFF することができますが、一度起きた遅延はその会話が終わるまで戻りません。

話始めは一時的なネットワーク遅延が発生しやすい状況にあります。PTT ON にしたらすぐに話すよりは一呼吸置いてから話すことを推奨します。

7.1.7 サーバーに接続できないケース

接続に失敗した場合は「サーバーに接続できません」というエラーメッセージが表示されます。原因と対策は下記が考えられます。

- 端末が外部のネットワークに接続できない。その場合はブラウザなどで外部サイトに接続できるかご確認ください。
- ローカルネットワークを利用している場合は、ファイアウォールなどで制限されている可能性があります。その場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。
- それでも改善されない場合は、アプリを再起動してください。

7.1.8 音声ノイズ

周りの環境音が大きい場合や同じグループのユーザーがスピーカーモードで使用している場合、反響しやすい環境など、周りの音を集音しハウリングが発生することケースがあります。また、使用するヘッドセットによってはエコーなどが発生します。使用場所の移動や音量・音質の調整、会話を送信しない場合は PTT を OFF にするなどの対応をしてください。有線ヘッドセットを使用の場合は、1 グループ内の同時 PTT ON は 3 台までをおすすめします。ただし、使用するヘッドセットおよび使用環境によって 3 台でもエコーが発生することがあります。

7.1.9 音声の連続送信

PTT の消し忘れなど、想定外の使用によるデータ通信量の消費を防ぐために、連続送信時間を 24 時間までとしています。24 時間経過したタイミングで PTT が自動で OFF になります。

7.1.10 データ通信量

同時に使用するグループの数だけデータ通信量が増加します（ネットワークの帯域を消費します）。使用帯域が増えると遅延や音切れの要因になりますので、必要最小限のグループ数で運用することを推奨します。

本アプリのダウンロードおよびご利用時に発生するデータ通信料は、お客さまのご負担となります（バージョンアップや本アプリが正常に動作しないことによる再設定などで追加発生する通信料を含みます）。

7.1.11 Bluetooth ヘッドセットの接続

Bluetooth ヘッドセットとの接続ができない、安定しないなどの場合は、ヘッドセットの再起動とスマートフォン本体の Bluetooth 設定の再起動もしくはスマートフォンを再起動して使用ください。

ヘッドセットとの接続ができたとしても、音声がスマートフォンから出る場合は、アプリを再起動してください。また、iOS と Bluetooth ヘッドセット（市販品）をセットで使用する場合は、メディアボタンでの PTT 操作はできません。PTT 操作はアプリ画面上で行ってください。

7.1.12 バックグラウンドでの機能制限（Android 限定）

使用する端末によって、長時間使用していない、アプリを多数起動してメモリが不足しているなどいくつかの理由で端末がアプリを自動終了させることができます。これを回避するために、バックグラウンドで機能制限しないことを標準設定としていますが、電池消費量が増加する場合があります。設定の変更は、[設定] → [アプリと通知] から変更できます。

※使用する端末、OS のバージョンによって操作方法が異なりますので、詳細はご使用の端末のマニュアルをご確認ください。

7.1.13 音声の送受信ができないケース

同じグループに参加しているにも関わらず、他のスマートフォンから送信された音声が流れないケースや、音声を送信しているにも関わらず他のスマートフォンで音声が流れないケースがあります。これはスマートフォンの時刻設定が、現在時刻とズれている可能性があります。スマートフォンの時刻設定をご確認ください。

Android の場合は、[設定] → [システム] → [日付と時刻の設定] から各種自動設定をオンにする。

iOS の場合は、[設定] → [一般] → [日付と時刻] → [自動設定] をオンにする。

7.2 さまざまな使い方

7.2.1 外部機器との接続

スマートフォンのイヤホンジャックによる音声入出力を使って他の外部機器（インカムシステムなど）と相互通信ができるようになります。

イヤホンジャックに接続すると VOX ボタンが表示されます。

PTT をオンフックにすると常時音声が出力されますが（無音でも出力される）、VOX ボタンを ON にすることで音声が入った時だけ出力するため、不要な音声によるノイズやデータ量を削減することができます。

ネットワークの遅延が大きいと、話し始めの音声が欠落することがあります。その際は、VOX を OFF にして使用してください。

7.3 主な仕様

サーバー	クラウド
通信量	1 グループあたり約 30kbps 【※1】
音声圧縮方式	モノラル 16bit 16kHz
オーディオアルゴリズム	ソニー独自アルゴリズム (ハウリング抑圧、ノイズキャンセル、低遅延対策、音声 MIX)
暗号化	あり
グループ数	無制限【※2】
接続端末数	無制限
同時接続グループ数	最大 6 グループ (1 端末あたり)
会話方式	トランシーバー (互通話)、インカム (双方向同時通話) 【※3】
音量	マイク入力レベル、グループ毎の出力レベル、 エコーの各調整が可能
VOX 機能	あり (既設インカムとの連携用など)
ネットワーク環境	3G/4G/Wi-Fi
対応 OS	Android 5.0 以降、iOS 12 以降、iPadOS13 以降
グループの共有方法	QR コード、URL リンク、マニュアル入力

※1.待機時における 1 台あたりの通信量はほぼゼロ、会話の送信 (PTT ON) 数によって通信量は変わります。

(参考例) 10 分間の会話受信もしくは送信時のデータ使用量 : 約 2.25MB

10 分会話 + 50 分待機で、1 日 8 時間、20 日／月のデータ使用量 : 約 360MB

※2.グループの生成は無制限ですが、端末への登録数の制限があります。

※3.インカムモード (双方向同時通話) ではヘッドセットが必要です。1 グループ内で同時 PTT ON は 5 台まで、1 端末で受信できる音声は 7 台までです。

本製品は、すべてのスマートフォン・タブレットで動作を保証するものではありません。また本製品の仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。